# PART3 ヨーロッパの再編

## Chapter1　イタリア・ドイツの統一

目標
イタリア統一の特色をおさえよう。
ドイツ統一の特色をおさえよう。

### 1　イタリアの統一→官民一体型の統一運動

カヴール

分裂が続いていたイタリアでは，1848年の二月革命時，サルデーニャ王国がオーストリア軍と戦い敗北した。翌 49年，亡命先のマルセイユで**「青年イタリア」**を主導してきた**マッツィーニ**を中心にローマ共和国が建設されたが，フランス軍の攻撃により崩壊した。

1849年　**ヴィットーリオ＝エマヌエーレ２世**が**サルデーニャ王国**の王位に就く
　※のち自由主義者の〔　　　　　　〕が首相となりクリミア戦争（1853～56年）に参戦，英・仏の歓心を買う。
1859年　前年にフランスと密約を結びオーストリアと開戦しロンバルディアを獲得
　※いわゆる「**イタリア統一戦争**」。イギリスは中立。
1860年　サヴォイアとニースをフランスに譲ることで中部イタリアを併合
　※この年，「青年イタリア」出身の〔　　　　　　〕が「千人隊〔赤シャツ隊〕」を率いて両シチリア王国を占領し，サルデーニャ王に譲る。
1861年　**イタリア王国**が成立し**ヴィットーリオ＝エマヌエーレ２世**が王となる
1866年　プロイセンと同盟しオーストリアからヴェネツィアを奪い併合
1870年　フランス軍の撤退に乗じローマ教皇領を占領し統一が実現
　※トリエステ・南チロルなどはオーストリア領に留まり「〔　　　　　〕**のイタリア**」と呼ばれる。また，ヴァチカンの教皇庁に籠るローマ教皇は対立を続けた。

サルデーニャ王に長靴を履かせるガリバルディ

## 2　ドイツの統一→国家主導型の統一運動

**1848年　ドイツ三月革命・フランクフルト国民議会**（～49年）

1862年　プロイセン王〔　　　　　　　　　　〕**１世**が**ビスマルク**を首相とする

※「〔　　　　　〕**政策**」として議会の反対を押し切り軍隊を拡張。

ビスマルク

1866年　**プロイセン＝オーストリア〔普墺〕戦争**

1867年　プロイセンを盟主とする北ドイツ連邦が結成される

※オーストリアは**オーストリア＝ハンガリー帝国**に再編。

1870年　**プロイセン＝フランス〔普仏〕戦争**（～71年）

※フランスは**アルザス・ロレーヌ**をドイツに譲り，莫大な賠償金を課せられた。

1871年　〔　　　　　　　　〕**帝国**が成立しプロイセン王**ヴィルヘルム１世**が**ドイツ皇帝**を兼ねる

※皇帝にのみ責任を負う帝国**宰相**には「**鉄血宰相**」〔　　　　　　　　　　〕が就任。

手始めにカトリック教徒の抑圧策である「〔　　　　　　　　〕」を開始。

1873年　ドイツ・オーストリア・ロシアの三帝同盟→ 1881年に新たな三帝同盟に

1875年　社会主義労働者党が成立　※のち**社会民主党**と改称（1890年）

1878年　**ベルリン会議**で列国の利害を調停

※ロシアとオスマン帝国間のサン＝ステファノ条約（露土戦争の講和条約）は破棄され，〔　　　　　　　　〕**条約**でロシアの拡大を抑える。

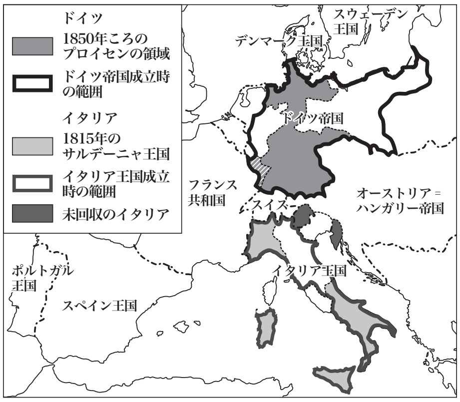
**社会主義者鎮圧法**を制定

※他方では**社会保険制度**を整備していたので「〔　　　　　　　　　　〕**の政策**」と呼ばれる。

1882年　**ドイツ・オーストリア・**〔　　　　　　　　〕の〔　　　　　　　　〕締結

1887年　三帝同盟が消滅しドイツ・ロシア間で再保障条約を結ぶ

※ドイツの安全をはかる複雑な同盟網である，**ビスマルク外交**の典型。




1870年ころのイタリア・ドイツ

まとめ　イタリアは一体性を欠いた南北の複数の国家が強引に統一されていた。
ドイツは，ビスマルクを首相とするプロイセンの力で統一が進んだ。

# Chapter2　ロシア・北欧諸国の展開

目標　ユーラシア大陸におけるロシアの政策とその影響をおさえよう。
19 世紀の北欧諸国に共通する特徴を考えてみよう。

## 1　ロシアの動向

ロシアは冬でも凍らない軍港＝〔　　　　　　〕の獲得と**地中海**への出口を求め，黒海・バルカン半島への〔　　　　〕**政策**推進を図った。

①ギリシア独立戦争（1821～29年）→〔　　　　〕**政策**１

ロシアはイギリス・フランスとともにギリシアを支援し，オスマン帝国に勝利。

②**デカブリスト〔十二月党員〕の乱**（1825年）

**ニコライ１世**の即位日に，青年将校たちが改革を求める蜂起を起こし鎮圧される。

③第一次・第二次エジプト＝トルコ戦争（1831～33，39～40年）→南下政策２

ロシアはオスマン帝国を支援し南下政策を進めるが，ロンドン条約で阻止される。

④ 1848年革命→反革命の擁護者「**ヨーロッパの**〔　　　　〕」

オーストリアを支援し，コシュートの指導するハンガリーの民族運動を制圧。ニコライ１世は，ロシアの立場が国際的に有利になった機会を利用し，さらなる南下政策推進をはかる。

⑤〔　　　　　　　　〕**戦争**（1853～56年）→南下政策３

ギリシア正教徒の保護を口実にロシアが〔　　　　　　　　〕帝国と開戦。**イギリス・フランス**とサルデーニャ王国は，ロシアの南下を阻止するためオスマン帝国を支援。極東地域でも戦闘が起こり，日本に開国を求めるプチャーチンの行動は抑えられた。

※イギリスの〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕らは，敵味方の区別なく看護した。

⑥〔　　　　〕**条約**（1856年）→ロシアが敗れたクリミア戦争の講和条約

A　黒海の中立化と各国の商船への開放

B　ダーダネルス・ボスフォラス両海峡の軍艦航行禁止

⑦クリミア戦争後の情勢→〔　　　　　　　〕**体制**の完全崩壊

列強の共同行動の維持が困難になり，1870年代には各国家が比較的自由に行動，戦争・紛争が多発した。

※先進国イギリス・フランスに対するロシアの敗戦を見て危機感を抱いた各地の後進国も「**上からの近代化**」を強引に進めることになった。

ナイティンゲール

⑧**アレクサンドル２世**による〔　　　　　　　　　　〕**令**（1861年）

農奴に人格的自由を認めたが，領主である地主貴族へ多額の買戻金を支払う必要があり，個人ではなく農村共同体〔**ミール**〕に引き渡されることが多いなど，地主本意の改革だった。

農奴解放令を告げるアレクサンドル２世

⑨**ロシア＝トルコ〔露土〕戦争**（1877～78年）→南下政策４

ロシアが黒海の制海権とバルカン半島の支配権をめぐる戦いでオスマン帝国に勝利。サン＝ステファノ条約が締結され，ついに南下政策が成功したかに見えたが，ドイツの宰相**ビスマルク**が開いた〔　　　　　　〕**会議**でベルリン条約が採択され，ロシアは抑えられた。

※ロシアは中央アジアや東アジアにも矛先を向け南下政策を展開，ユーラシア大陸をまたぐイギリスとの「**グレート＝ゲーム**」状態となった。

⑩皇帝〔　　　　　　　　　　　　　　〕の暗殺（1881年）→改革の挫折

1870年代，急進的な都市の知識人〔インテリゲンツィア〕は，「ヴ＝ナロード〔人民のなかへ〕」の標語を掲げ〔　　　　　　　　　　〕〔人民主義者〕と呼ばれていた。

※しかし，官憲の弾圧と農民の無関心により挫折。失望したナロードニキの一部は，**テロリズム**〔暴力主義〕にはしり政府転覆を図った。そもそもロシアは多民族国家で，他国のような「国民国家」建設は難しかった。

## 2　北欧諸国の動向

①〔　　　　　　　　　　〕→ 17 世紀前半，国王グスタフ＝アドルフの治世が全盛期

北ドイツの領土をプロイセンに奪われ，**フィンランド**も 1809年にロシアに割譲していたが，19 世紀初めに憲法が制定され，やがて責任内閣制が確立した。

②**ノルウェー**

ウィーン会議（1814～15年）の結果スウェーデン領となったが，独自の憲法を持ち，1905年の国民投票により平和的に独立した。

③**デンマーク**

1864年，プロイセン・オーストリアとの戦争に敗れてシュレスヴィヒ・ホルシュタインを失ったが，以後，農業・牧畜を主とする中立な小国となった。

まとめ　ロシアは不凍港を求め南下政策を推進し，イギリスと対立した。
北欧の三国は穏健な立憲君主制で，国内の改革に集中できる環境があった。

# 第 4 講　PART3　確認問題

**1** マッツィーニがイタリアの独立と統一をめざして結成した組織を何というか。

① 青年イタリア　② カルボナリ
③ 千人隊　④ デカブリスト

**2** クリミア戦争に参戦した，サルデーニャ王国の首相はだれか。

① ガリバルディ　② カヴール
③ ビスマルク　④ マッツィーニ

**3** 1859年のイタリア統一戦争で，サルデーニャ王国がオーストリアから獲得したのはどこか。

① ヴェネツィア　② ロンバルディア
③ ニース　④ トリエステ

**4** 1870年から始まったプロイセン = フランス〔普仏〕戦争の結果，ドイツが獲得したのはどこか。

① 南チロル　② サヴォイア
③ ロンバルディア　④ アルザス・ロレーヌ

**5** 1878年，ビスマルクの調停によって成立した条約を何というか。

① 三帝同盟　② サン = ステファノ条約
③ ベルリン条約　④ 再保障条約

**6** デカブリスト〔十二月党員〕の乱はだれの即位日に起こったか。

① ニコライ 1 世　② ニコライ 2 世
③ アレクサンドル 1 世　④ アレクサンドル 2 世

**7** ギリシア正教徒の保護を口実に，ロシアが 1853年に開始した戦争を何というか。

① ロシア = トルコ戦争　② ギリシア独立戦争
③ エジプト = トルコ戦争　④ クリミア戦争

**8** クリミア戦争の講和条約を何というか。

① ベルリン条約　② パリ条約
③ イリ条約　④ サン = ステファノ条約

**9** アレクサンドル 2 世が治めていた時代のできごとはどれか。

① 1848年革命　② デカブリスト〔十二月党員〕の乱
③ 農奴解放令　④ エジプト = トルコ戦争

**10** ロシアで，社会主義改革の実現をめざす急進的な都市の知識人は何と呼ばれたか。

① ミール　② ツァーリズム
③ ユンカー　④ ナロードニキ

# 第 4 講　PART3　確認問題 解答

**1** 解答：①

マッツィーニは 1849 年に建国されたローマ共和国に執政官として迎え入れられた。

②：19 世紀前半に結成されたイタリアの秘密結社。
③：「青年イタリア」出身のガリバルディが組織した義勇軍〔赤シャツ隊〕。
④：ロシアで 1825 年に反乱を起こした青年将校たちのこと。

**2** 解答：②

カヴールは，サルデーニャ王国のヴィットーリオ = エマヌエーレ 2 世のもとでイタリア統一を推進した。

①：千人隊〔赤シャツ隊〕を率いて両シチリア王国を占領した革命家。
③：鉄血政策を行ったプロイセンの首相。
④：青年イタリアを組織し，のちにローマ共和国に迎え入れられた革命家。

**3** 解答：②

サルデーニャ王国はフランスと密約を結んだうえでオーストリアと開戦し，ロンバルディアを獲得した。

①：イタリア王国がオーストリアから奪い併合した。
③：サルデーニャ王国が，中部イタリアを併合する代わりにフランスに割譲した。
④：イタリアの統一完成後も，南チロルとともにオーストリア領として残った国境地域。

**4 解答：④**

プロイセン＝フランス〔普仏〕戦争の結果，フランスはアルザス・ロレーヌをドイツに譲り，莫大な賠償金を課せられた。

①：イタリアの統一完成後も，トリエステとともにオーストリア領として残った国境地域。
②：サルデーニャ王国が，中部イタリアを併合する代わりにフランスに割譲した。
③：イタリア統一戦争で，サルデーニャ王国がオーストリアから獲得した。

**5 解答：③**

ベルリン条約は，列国の利害を調停したベルリン会議で結ばれた。

①：1873 年締結の，ドイツ・オーストリア・ロシアの三国による対フランス同盟。
②：1878 年にロシアとオスマン帝国間で締結された，ロシア＝トルコ〔露土〕戦争の講和条約。ベルリン会議の結果，破棄された。
④：1887 年にドイツとロシア間で締結された秘密軍事条約。

**6 解答：①**

ニコライ 1 世は，兄のアレクサンドル 1 世の急逝にともない即位した。

②：ロシア帝国ロマノフ朝の最後の皇帝で，日露戦争に踏み切った。
③：19 世紀初め，ナポレオン戦争に勝利し，ウィーン体制を主導した。
④：クリミア戦争中に死去したニコライ 1 世に代わって即位した。

**7 解答：④**　クリミア戦争で，ロシアはオスマン帝国に敗れた。

①：1877年，ロシアが黒海の制海権などをめぐりオスマン帝国と開始した戦い。
②：1821年，ギリシアがオスマン帝国からの独立を目指して起こした戦争。
③：1831年，自治を認められていたエジプトがオスマン帝国と開始した戦い。

**8 解答：②**　パリ条約では，黒海の中立化やダーダネルス・ボスフォラス両海峡の軍艦航行禁止などが盛り込まれた。

①：1878年のベルリン会議で，ビスマルクの調停によって成立した条約。
③：1881年に締結された，清とロシアの国境協定。
④：1878年に締結された，ロシア＝トルコ〔露土〕戦争の講和条約。

**9 解答：③**　農奴解放令によって，農奴は人格的自由が認められた。

①：ニコライ1世の時代。1848年革命を鎮圧したことから，「ヨーロッパの憲兵」と呼ばれた。
②：ニコライ1世の時代。即位日に勃発し鎮圧した。
④：ニコライ1世の時代。オスマン帝国の弱体化に乗じてエジプト＝トルコ戦争に介入し，黒海方面への進出を図った。

**10 解答：④**　ナロードニキは，「ヴ＝ナロード〔人民のなかへ〕」という標語を掲げ，農民の啓蒙運動に努めた。

①：ロシアの農村共同体のこと。
②：ロシアの皇帝による専制政治のこと。
③：プロイセンの保守的な領主貴族のこと。